

市民と野党の共闘で都政の転換を

呼びかけ人会議 news no, 15

事務局：TEL・FAX 03-3943-6533

hp:https://www.yobikakenintokyo.com/ e-mail:yobikakenin.tokyo@gmail.com

立憲・共産・社民党首と宇都宮候補が訴え

国民・小沢衆院議員がメッセージ

JR新橋SL広場前で



18日、都知事選挙が告示され22人が立候補届けをおこない、7月5日投票に向けて選挙戦の火蓋が切つて落とされました。市民と野党の共闘で立候補した宇都宮けんじさんは立候補届のあと、都庁第1庁舎のまえで、第一声（ニュースno. 14）をおこない、各地での立候補表明にまわりました。

夕方には、新橋駅SL広場前で、立憲民主党、日本共産党、社民党の各党首と並んで訴えをおこないました。

立憲民主党の枝野代表が「一番困ったときに支えてくれる都政をつくる、命とくらしを守るために宇都宮さんを都知事にしよう」、日本共産党の志位委員長が「宇都宮さんは弱い立場の人に寄り添いつづけた心優しい人。最良の候補者。市民と野党の力をあわせて必ず都知事にしよう」、社民党の福島党首は「反貧困ために地道な活動をつづけてきた。宇都宮都知事誕生のために力をあわせよう」と訴えました。また、国民民主党の小沢一郎衆院議員からは「勝利のためにあらゆる努力を約束する」とのメッセージ

ジが紹介されました。

「生存権がかかった選挙」

野党各党からの熱い応援演説をうけてマイクをとった宇都宮けんじ候補は、この選挙で重視する課題として、①新型コロナウイルスから都民の命を守る医療体制の充実と自粛や休業にともなう補償を徹底すること、②都立病院・公社病院の独立行政法人化を中止し、このような病院を充実し強化すること、③東京五輪について専門家が困難と判断すればIOCに積極的に中止を働きかける、④カジノ誘致をきっぱりと中止すること、などを表明。「今回立候補した誰よりも、都民一人ひとりの命やくらし、コロナ災害でしわ寄せを受けている社会的弱者の方への思いは強い」と述べ、支持を訴えました。

この街頭演説はLIVE中継されましたが、新橋駅SL広場前にもおおくの都民が駆けつけ、プラスターや横幕、のぼり旗などを掲げて帰宅途中の勤労者に宇都宮候補支持を訴えました。

永山利和代表呼びかけ人が街頭演説で訴え



呼びかけ人会議代表呼びかけ人の永山利和さんが、昨日、小田急線狛江駅で宇都宮けんじ候補の支持（確認団体カー）を訴えました。永山さんは「今回の都知事選挙は石原都政から続く都民軽視の都政から、福祉、医療、教育の拡充、民営化推進都政を転換させることが最大の課題です。この課題に答えられる最もふさわしい候補として「市民と野党の共闘で

都政転換を」求める呼びかけ人会議は、宇都宮健児候補こそ都知事に相応しいと判断しました」と述べ、「市民の力、野党共闘の力を合わせ、多摩三区都議補選の勝利と合わせて新しい東京都政実現に向け、共にがんばりましょう」と呼びかけました。